

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 7 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 24 日 (2007.5.24)

【公表番号】特表 2006-524618 (P2006-524618A)

【公表日】平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【年通号数】公開・登録公報 2006-043

【出願番号】特願 2006-504042 (P2006-504042)

【国際特許分類】

B 6 5 G 39/07 (2006.01)

C 2 1 D 1/00 (2006.01)

C 2 1 D 9/56 (2006.01)

C 0 3 B 13/04 (2006.01)

C 0 3 B 23/033 (2006.01)

【F I】

B 6 5 G 39/07

C 2 1 D 1/00 1 1 5 A

C 2 1 D 9/56 1 0 1 G

C 0 3 B 13/04

C 0 3 B 23/033

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 28 日 (2007.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

前記凹部の少なくとも 1 つは、前記ローラの回転軸を含む複数の平面が有する少なくとも 2 つの壁によって画定されることを特徴とする、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のローラ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

前記凹部の少なくとも 1 つは金属被覆を有することを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のローラ。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 2】

ローラの側方の端面 1 2 に形成された凹部 2 2 は、軸線 3 に向かって開口し、内面 5 の両端から軸方向に所定距離にわたって延びる。